

墨田区子ども・子育て支援ニーズ調査調査結果報告書（概要） （案）

1 調査の目的

本調査は、「墨田区次世代育成支援行動計画 墨田区子ども・子育て支援事業計画」の中間の見直しを行うに当たり、教育・保育施設及び地域子ども・子育て支援事業の需要量の見込み及び確保量を設定する上での基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査の種類と実施方法等

区内に居住する、就学前の子どもの保護者、小学生の保護者、区内の公立中学校に通う中学校2年生（各校ひとクラス）と、住民基本台帳の中から中学校卒業後19歳までの方を無作為抽出して、平成28年6月15日から平成28年7月15日に実施しました。

対象者	実施方法	配布数	有効回答数	有効回答率
就学前の子どもの保護者	郵送による配布・回収	2,000通	1,099通	55.0%
小学生の保護者	郵送による配布・回収	1,500通	728通	48.5%
成人前	郵送による配布・回収 中学2年生のみ直接配布・回収	700通	435通	62.1%

3 就学前の子どもの保護者の意識とニーズ

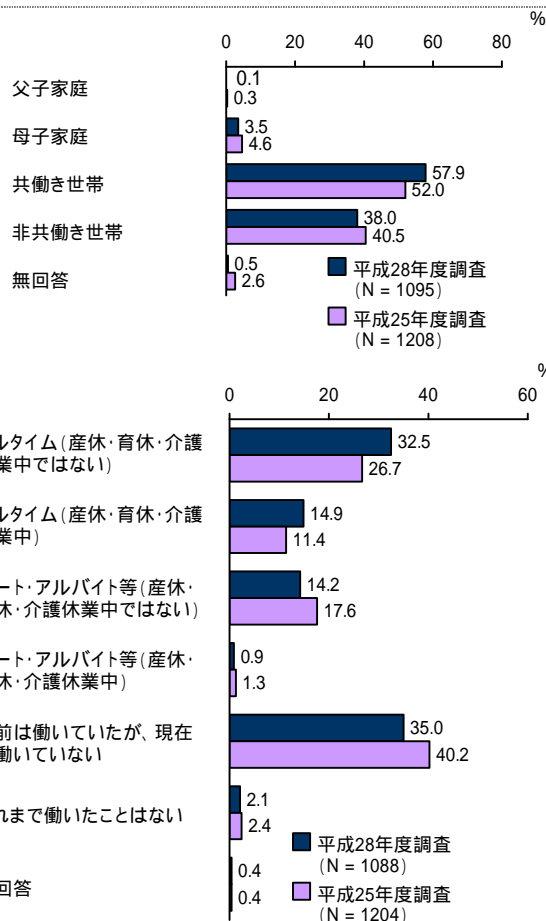
家庭の状況

家庭の状況は、「共働き世帯」の割合が57.9%と最も高く、次いで「非共働き世帯」の割合が38.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「共働き世帯」の割合が増加しています。

母親の就労状況をみると、「以前は働いていたが、現在は働いていない」の割合が35.0%と最も高く、次いで「フルタイム(産休・育休・介護休業中ではない)」の割合が32.5%、「フルタイム(産休・育休・介護休業中)」の割合が14.9%となっています。

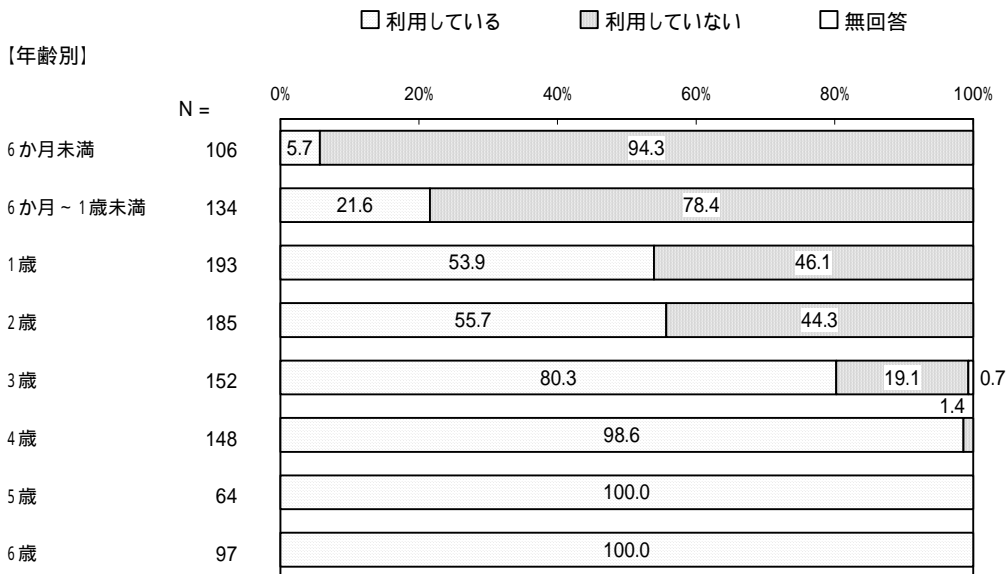
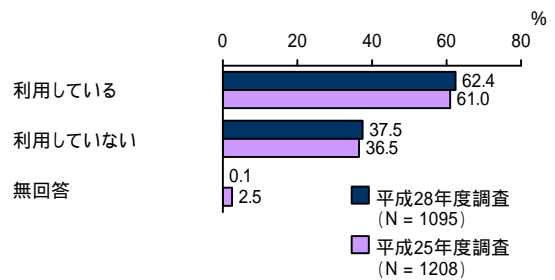
平成25年度調査と比較すると、「フルタイム(産休・育休・介護休業中ではない)」の割合が増加し、「以前は働いていたが、現在は働いていない」の割合が減少しています。



「定期的な教育・保育事業」の利用状況

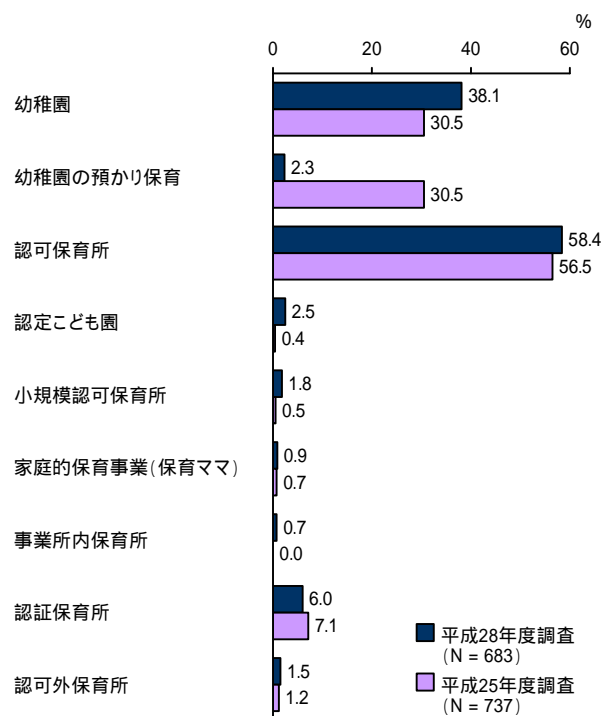
「定期的な教育・保育事業」を利用状況は、「利用している」の割合が62.4%、「利用していない」の割合が37.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



「定期的な教育・保育事業」の主な利用内容【現状】

「定期的な教育・保育事業」の利用内容は、「認可保育所」の割合が58.4%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が38.1%、「認証保育所」の割合が6.0%となっています。



希望する「定期的な教育・保育事業」【希望】

現在、利用している、利用していないにかかわらず、対象のお子さんの平日の教育・保育の事業として、定期的に最も利用したいと思う事業の第1希望は、「認可保育所」の割合が最も高く、次いで「幼稚園」となっています。

年齢別にみると、「認可保育所」の割合が「5歳」を除くすべての年齢区分で顕著に高くなっています。

単位：%

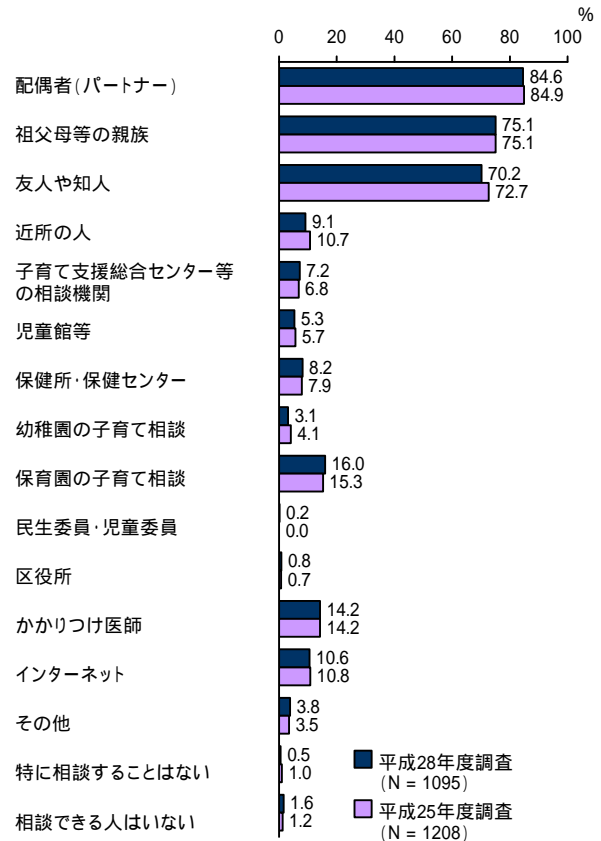
区分	有効回答数(件)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所	認定こども園	小規模認可保育所	家庭的保育事業(保育ママ)	事業所内保育所
6か月未満	106	20.8	0.9	65.1	2.8	-	-	0.9
6か月～1歳未満	134	13.4	1.5	66.4	6.7	-	-	0.7
1歳	193	20.2	2.1	66.8	2.6	1.0	0.5	-
2歳	185	29.7	5.4	50.3	4.9	0.5	-	0.5
3歳	152	31.6	5.3	48.0	8.6	-	-	0.7
4歳	148	35.1	4.7	48.0	5.4	-	-	-
5歳	64	40.6	4.7	36.0	14.1	-	-	-
6歳	97	33.0	4.1	48.4	6.2	-	-	-

区分	認証保育所	認可外保育所	定期利用保育	居宅訪問型保育	すみだ子育て支援ネットワーク(エ6)(墨田区訪問型保育支援事業)	すみだファミリー・サポート・センター	その他	無回答
6か月未満	3.8	-	-	-	0.9	-	-	4.7
6か月～1歳未満	3.0	-	3.0	-	-	-	0.7	4.5
1歳	1.6	-	1.0	0.5	0.5	1.0	-	2.1
2歳	1.1	0.5	0.5	0.5	-	-	1.1	4.9
3歳	0.7	0.7	0.7	-	-	0.7	0.7	2.6
4歳	-	-	0.7	-	0.7	0.7	0.7	4.1
5歳	-	1.6	-	-	-	-	1.6	1.6
6歳	4.1	-	-	-	-	1.0	-	3.1

子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人・場所等の有無

子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人・場所等は、「配偶者（パートナー）」の割合が84.6%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が75.1%、「友人や知人」の割合が70.2%となっています。

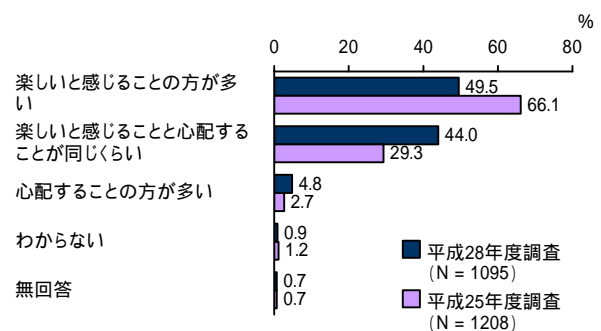
平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



子育てをどのように感じているか

子育てをどのように感じているかについては、「楽しいと感じることの方が多い」の割合が49.5%と最も高く、次いで「楽しいと感じることと心配することが同じくらい」の割合が44.0%となっています。

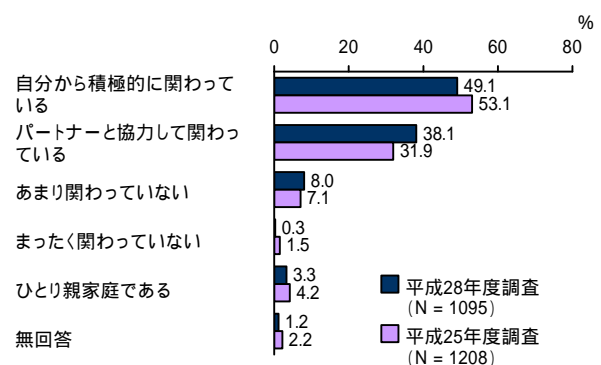
平成25年度調査と比較すると、「楽しいと感じることと心配することが同じくらい」の割合が増加し、「楽しいと感じることの方が多い」の割合が減少しています。



父親の子育てに対する関わり方

父親の子育てに対する関わり方は、「自分から積極的に関わっている」の割合が49.1%と最も高く、次いで「パートナーと協力して関わっている」の割合が38.1%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「パートナーと協力して関わっている」の割合が増加しています。

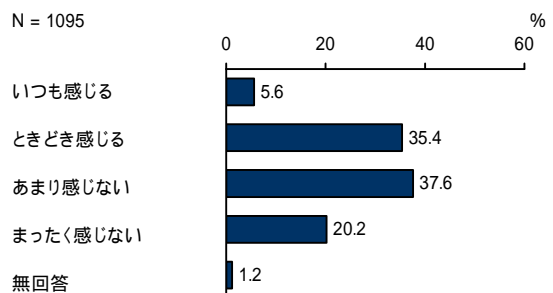
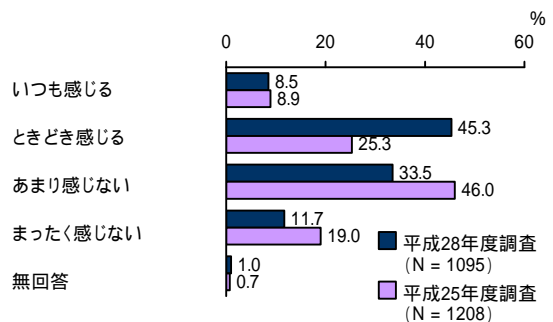


子育てに自信が持てないと感じたり、不安や孤独を感じたりすること

子育てに自信が持てないと感じることについては、「いつも感じる」と「ときどき感じる」をあわせた“感じることもある”の割合が53.8%、「あまり感じない」と「まったく感じない」をあわせた“感じることはない”の割合が45.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、“感じることもある”の割合が増加しています。

また、子育てに不安や孤独を感じることにについては、“感じることもある”の割合が41.0%、“感じることはない”の割合が57.8%となっています。

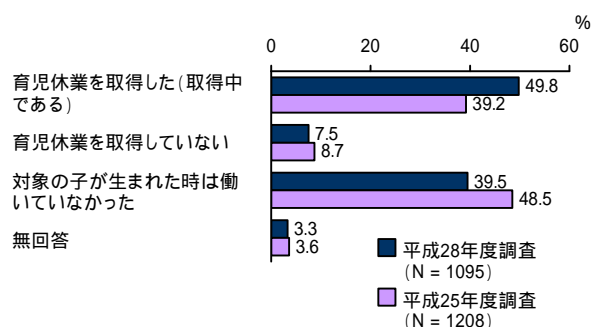


育児休業の取得状況

母親の育児休業の取得状況は、「育児休業を取得した（取得中である）」の割合が49.8%と最も高く、次いで「対象の子が生まれた時は働いていなかった」の割合が39.5%となっています。

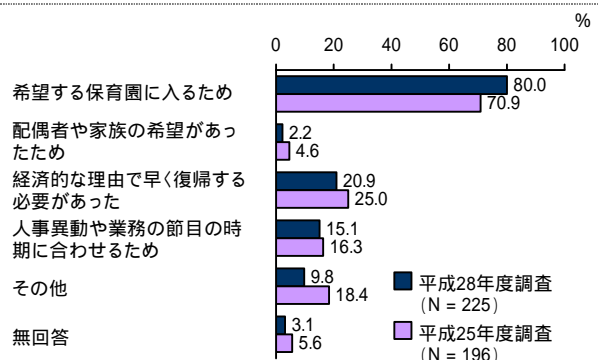
平成25年度調査と比較すると、「育児休業を取得した（取得中である）」の割合が増加し、「対象の子が生まれた時は働いていなかった」の割合が減少しています。

なお、父親の育児休業の取得状況は、4.0%と低い状況となっています。



母親が取得期間を希望より早く職場に復帰した理由

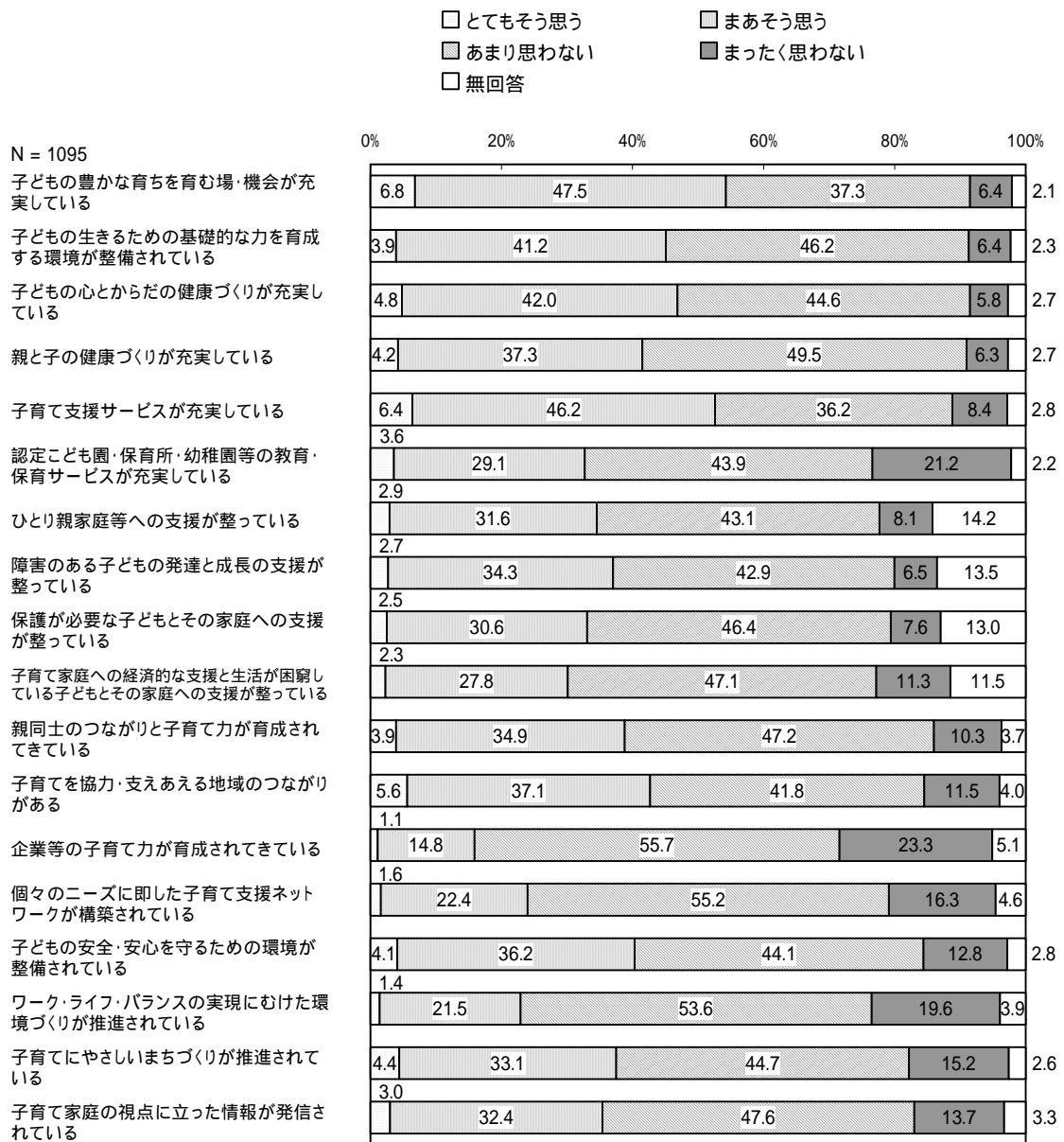
母親が取得期間を希望より早く職場に復帰した理由は、「希望する保育園に入るため」の割合が80.0%と最も高く、平成25年度調査と比較しても割合が増加しています。



乳幼児期のお子さんを育てていく上で、墨田区のことをどのように感じているか

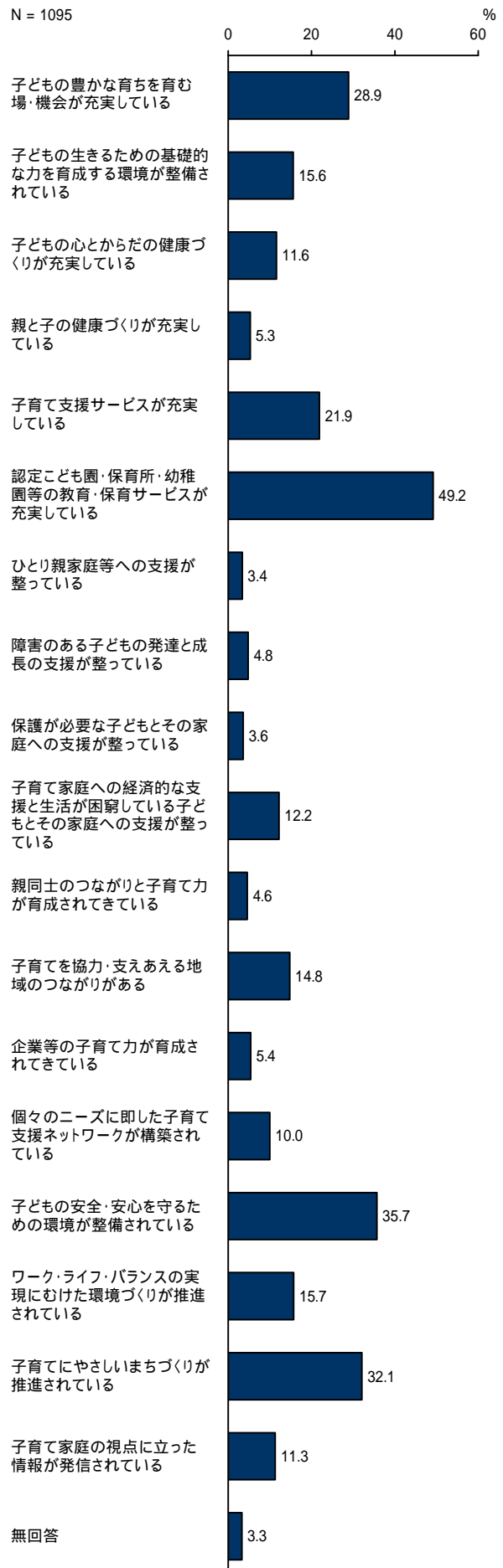
乳幼児期のお子さんを育てていく上で、墨田区のことをどのように感じているかについては、子どもの豊かな育ちを育む場・機会が充実している、子育て支援サービスが充実しているで「とてもそう思う」と「まあそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高く、5割を超えています。

一方、企業等の子育て力が育成されてきている、個々のニーズに即した子育て支援ネットワークが構築されている、ワーク・ライフ・バランスの実現にむけた環境づくりが推進されているで「あまり思わない」と「まったく思わない」をあわせた“思わない”の割合が高く、7割を超えています。



墨田区がめざす環境として重要だと思うこと

墨田区がめざす環境として重要だと思うことは、「認定こども園・保育所・幼稚園等の教育・保育サービスが充実している」の割合が49.2%と最も高く、次いで「子どもの安全・安心を守るための環境が整備されている」の割合が35.7%、「子育てにやさしいまちづくりが推進されている」の割合が32.1%となっています。

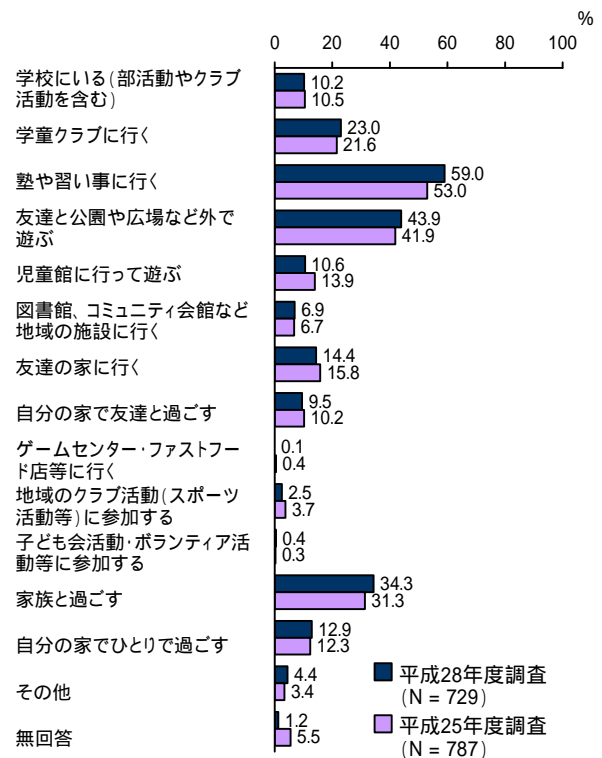


4 小学生の保護者の意識とニーズ

お子さんの月曜日から金曜日の放課後の過ごし方

お子さんの月曜日から金曜日の放課後の過ごし方については、「塾や習い事に行く」の割合が 59.0%と最も高く、次いで「友達と公園や広場など外で遊ぶ」の割合が 43.9%、「家族と過ごす」の割合が 34.3%となっています。

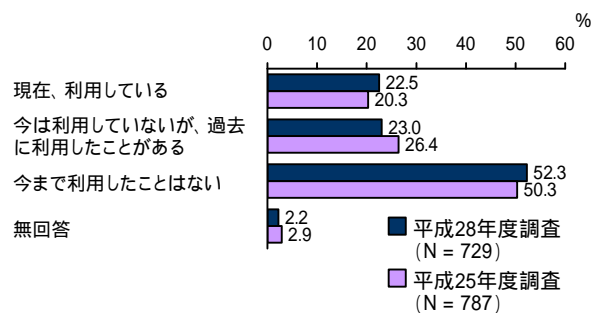
平成 25 年度調査と比較すると、「塾や習い事に行く」の割合が増加しています。



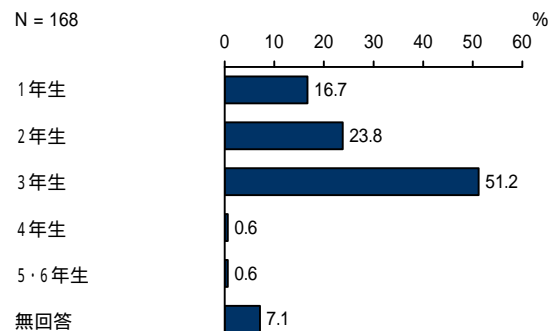
学童クラブの利用状況と利用希望

学童クラブの利用状況については、「今まで利用したことはない」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「今は利用していないが、過去に利用したことがある」の割合が 23.0%、「現在、利用している」の割合が 22.5%となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



何年生まで利用していたかについては、「3年生」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「2年生」の割合が 23.8%、「1年生」の割合が 16.7%となっています。

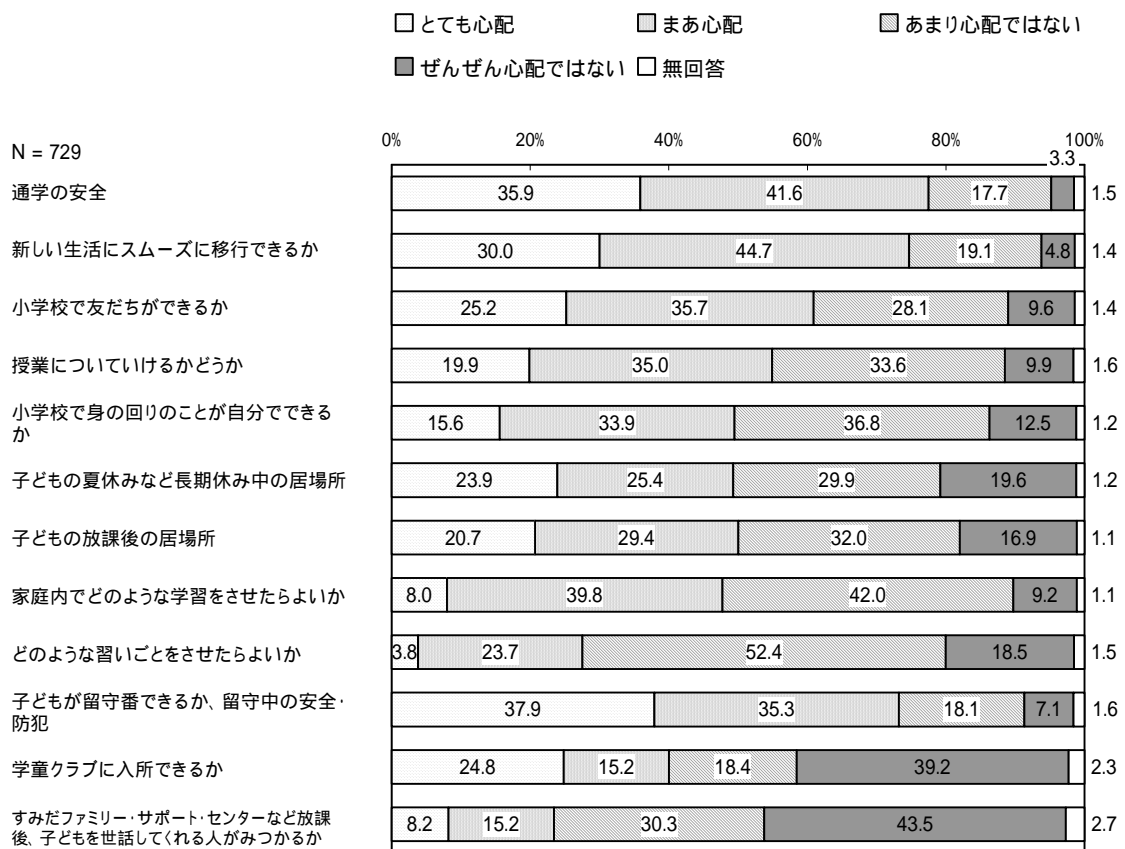


小学校に入学した時に心配だったこと

小学校に入学した時に心配だったことは、通学の安全、新しい生活にスムーズに移行できるか、子どもが留守番できるか、留守中の安全・防犯で「とても心配」と「まあ心配」をあわせた“心配”の割合が高く、7割を超えています。

一方で、どのような習いごとをさせたらよいか、すみだファミリー・サポート・センターなど放課後、子どもを世話してくれる人がみつかるかで「あまり心配ではない」と「ぜんぜん心配ではない」をあわせた“心配ではない”の割合が高く、約7割となっています。

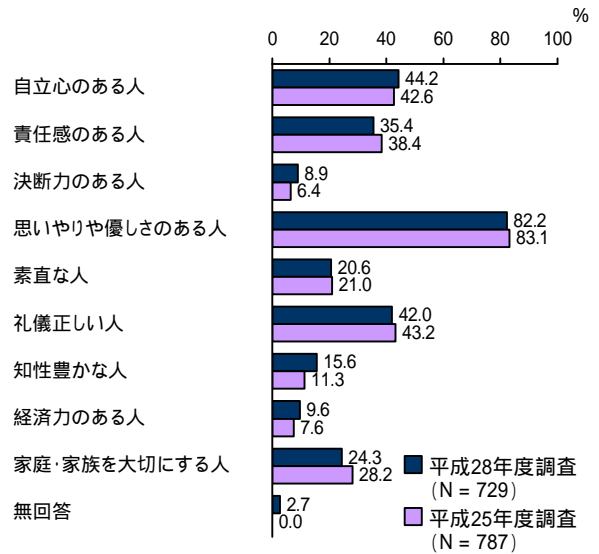
平成25年度調査と比較すると、授業についていけるかどうか、家庭内でどのような学習をさせたらよいかで“心配”の割合が増加しています。



どのような人になってほしいか

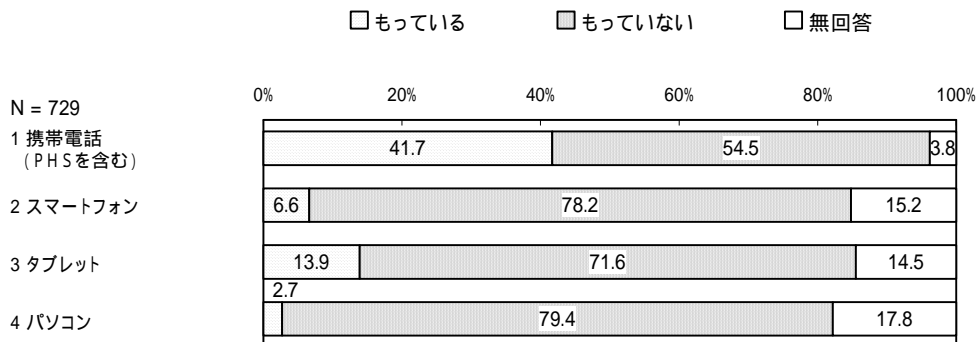
どのような人になってほしいかについては、「思いやりや優しさのある人」の割合が82.2%と最も高く、次いで「自立心のある人」の割合が44.2%、「礼儀正しい人」の割合が42.0%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

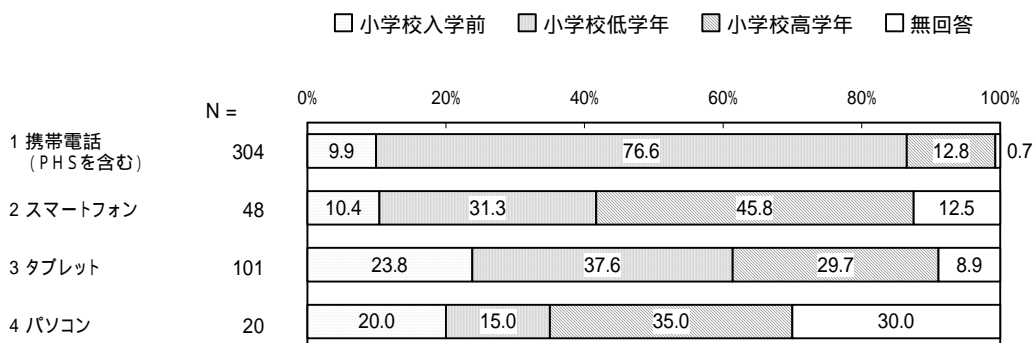


子ども専用の携帯電話（PHSを含む）、スマートフォン、タブレット、パソコンの保有状況

子ども専用の携帯電話等の保有の状況は、携帯電話（PHSを含む）で「もっている」の割合が高く、約4割となっています。他の項目については「もっていない」の割合が高く、7割以上となっています。



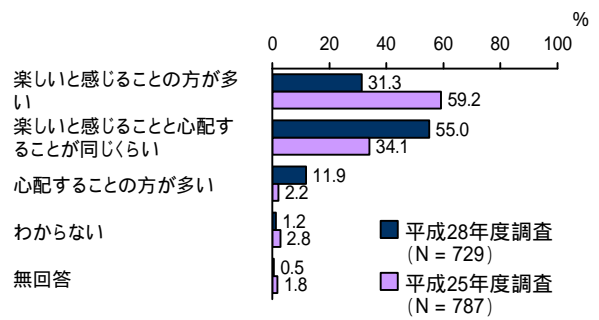
また、自分専用として使いはじめた時期については、携帯電話（PHSを含む）で「小学校低学年」の割合が高く、7割台半ばとなっています。また、タブレット、パソコンで「小学校入学前」の割合が高く、約2割となっています。



子育てをどのように感じているか

子育てをどのように感じているかについては、「楽しいと感じることと心配することが同じくらい」の割合が 55.0%と最も高く、次いで「楽しいと感じることの方が多い」の割合が 31.3%、「心配することの方が多い」の割合が 11.9%となっています。

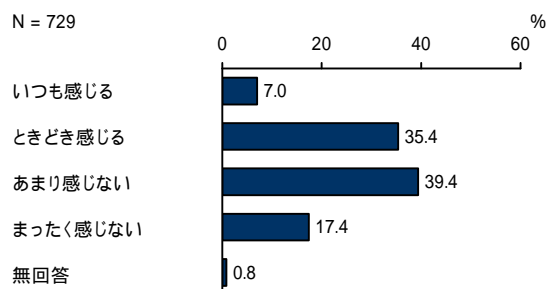
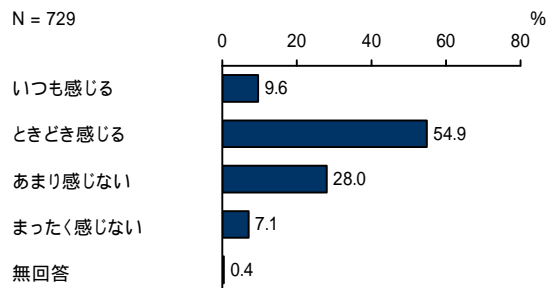
平成 25 年度調査と比較すると、「楽しいと感じることと心配することが同じくらい」「心配することの方が多い」の割合が増加し、「楽しいと感じることの方が多い」の割合が減少しています。



子育てに自信が持てないと感じたり、不安や孤独を感じたりすること

子育てに自信が持てないと感じることについては、「いつも感じる」と「ときどき感じる」をあわせた“感じる”の割合が 64.5%、「あまり感じない」と「まったく感じない」をあわせた“感じない”の割合が 35.1%となっています。

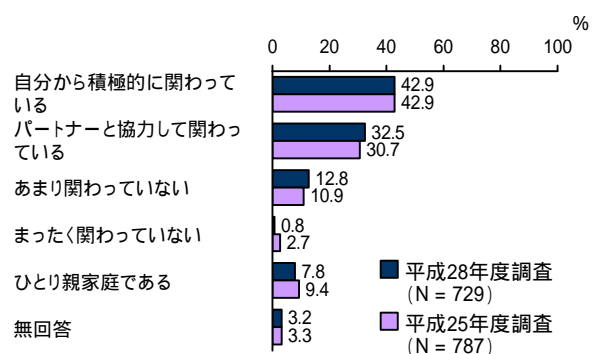
また、子育てに不安や孤独を感じることにについては、“感じる”の割合が 42.4%、“感じない”の割合が 56.8%となっています。



父親の子育てに対する関わり方

父親の子育てに対する関わり方は、「自分から積極的に関わっている」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「パートナーと協力して関わっている」の割合が 32.5%、「あまり関わっていない」の割合が 12.8%となっています。

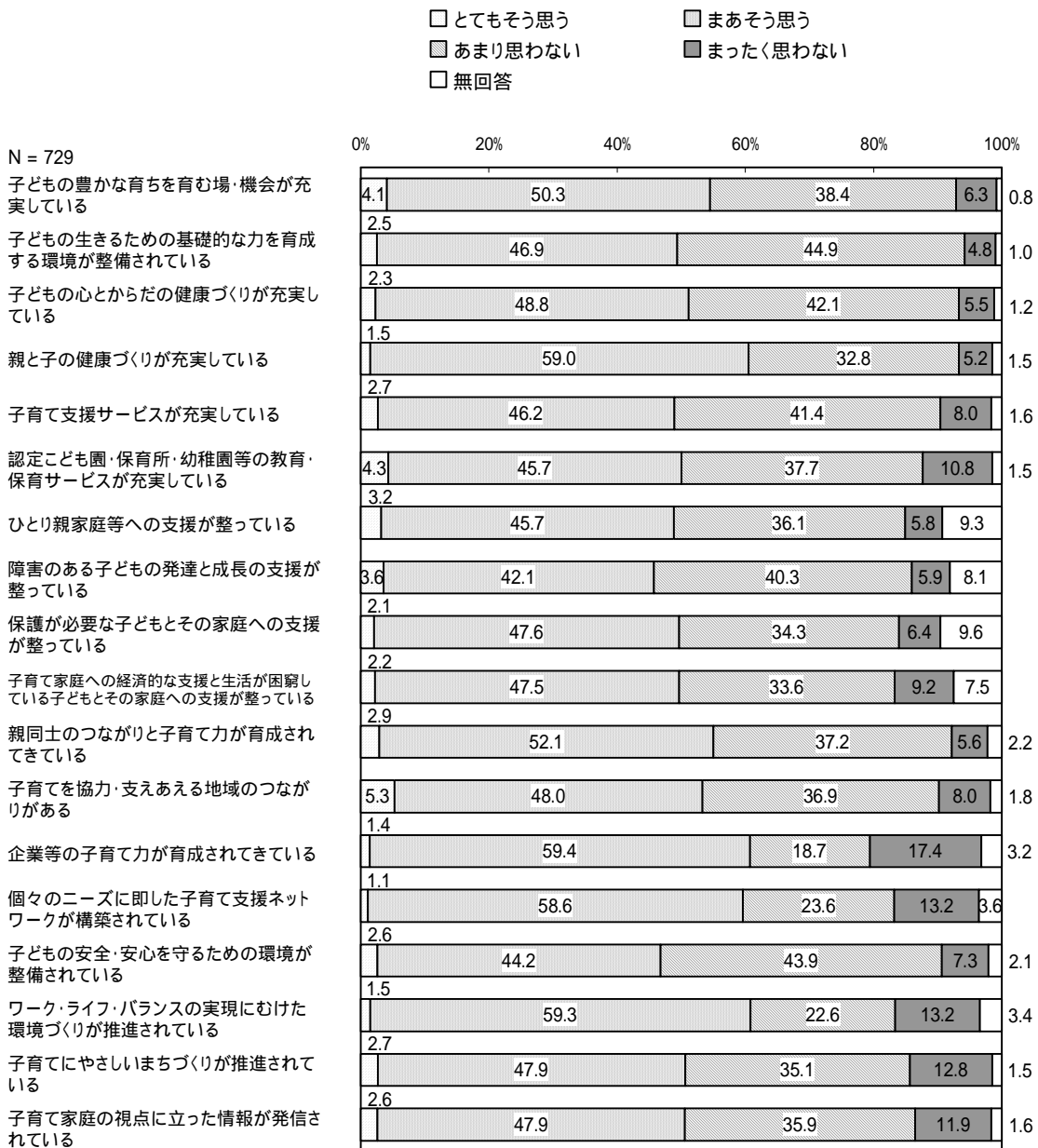
平成 25 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



小学生のお子さんを育てていく上で、墨田区的环境をどのように感じているか

小学生のお子さんを育てていく上で、墨田区的环境をどのように感じているかについては、親と子の健康づくりが充実している、企業等の子育て力が育成されてきている、ワーク・ライフ・バランスの実現にむけた環境づくりが推進されているで「とてもそう思う」と「まあそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高く、6割を超えています。

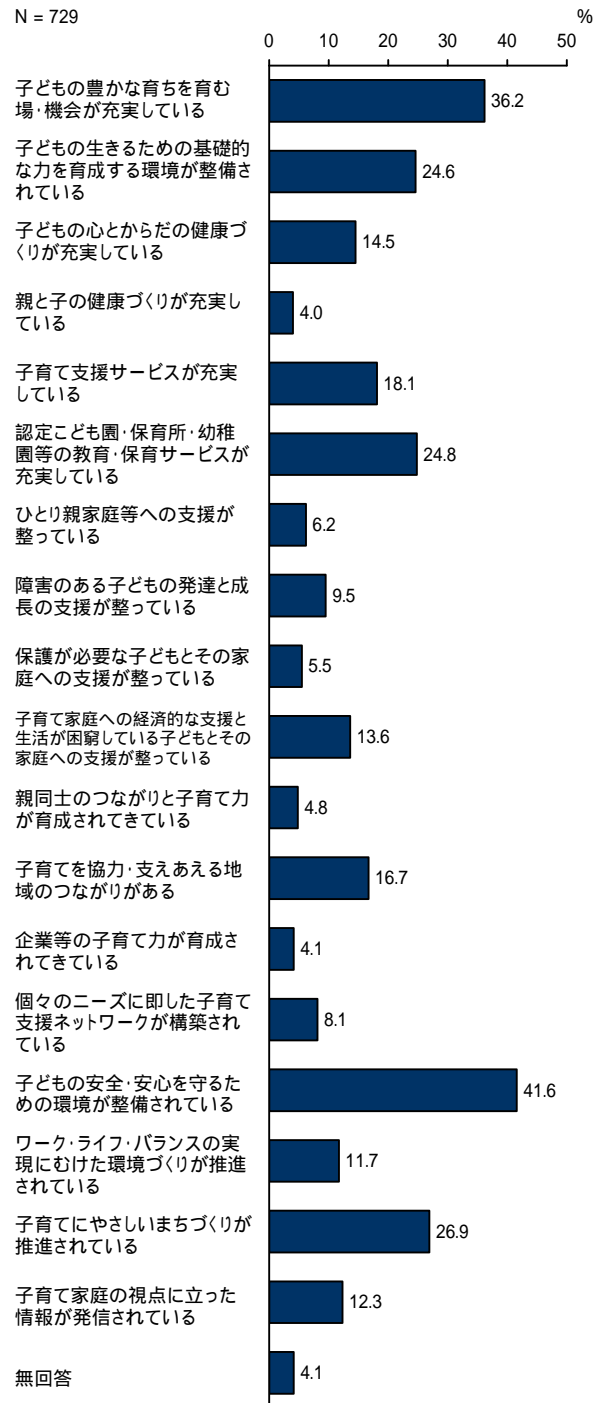
一方、子どもの安全・安心を守るための環境が整備されているで「あまり思わない」と「まったく思わない」をあわせた“思わない”の割合が高く、5割を超えています。



墨田区がめざす環境として重要だと思うこと

墨田区がめざす環境として重要だと思うことは、「子どもの安全・安心を守るための環境が整備されている」の割合が41.6%と最も高く、次いで「子どもの豊かな育ちを育む場・機会が充実している」の割合が36.2%、「子育てにやさしいまちづくりが推進されている」の割合が26.9%となっています。

N = 729

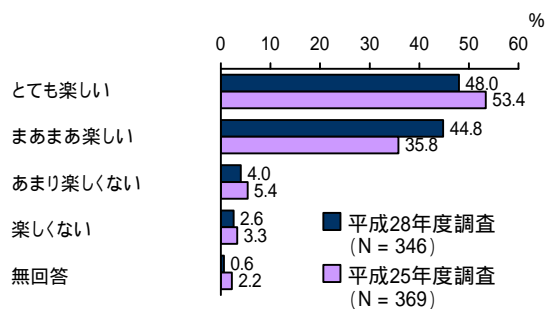


5 小学生（4年生以上）本人の意識

学校は楽しいか

学校は楽しいかについては、「とても楽しい」と「まあまあ楽しい」の割合が“楽しい”の割合が92.8%、「あまり楽しくない」と「楽しくない」の割合が6.6%となっています。

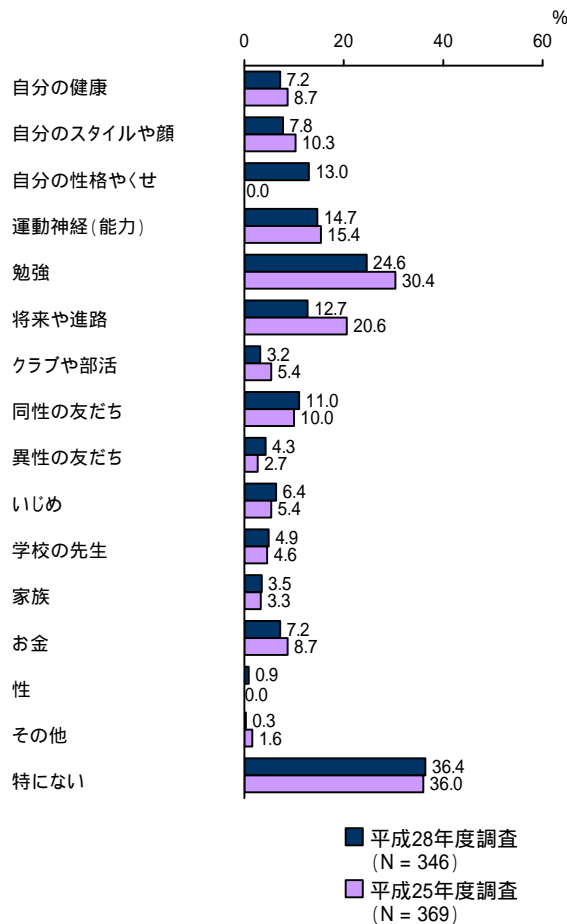
平成25年度調査と比較すると、「とても楽しい」の割合が減少し、「まあまあ楽しい」の割合が増加しています。



なやみや心配なことがあるか

なやみや心配なことがあるかについては、「特にない」の割合が36.4%と最も高くなっている一方で、なやみや心配なこととして、「勉強」の割合が24.6%、「運動神経（能力）」の割合が14.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「自分の性格やくせ」の割合が増加し、「勉強」「将来や進路」の割合が減少しています。

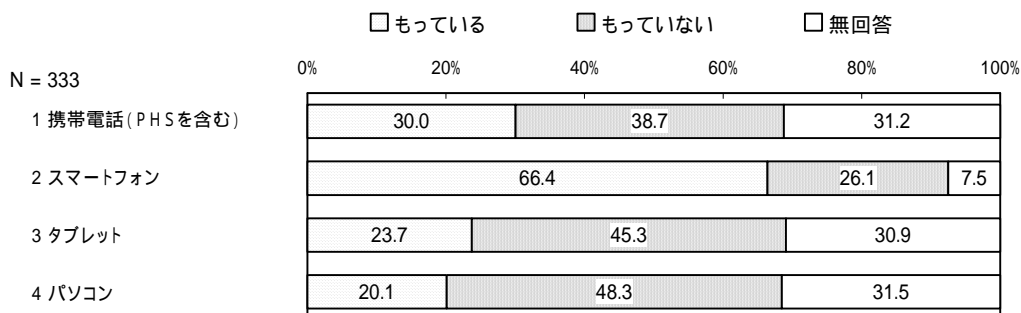


6 成人前本人の意識とニーズ

自分専用の携帯電話（PHSを含む）スマートフォン、タブレット、パソコンの保有状況

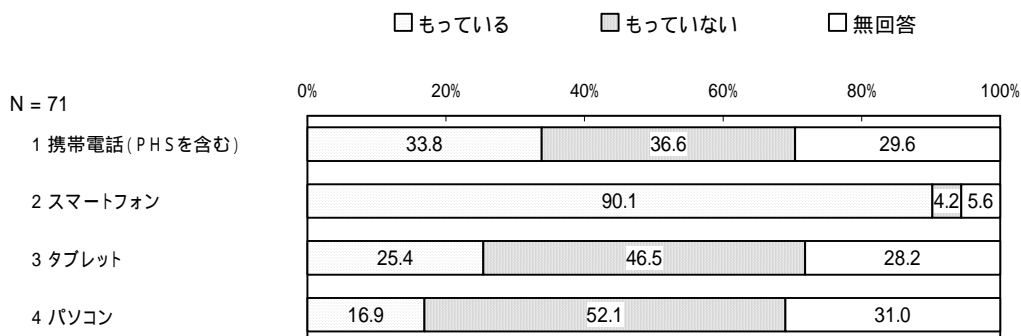
（１）中学生

中学生では、スマートフォン「もっている」人の割合が6割を超えています。



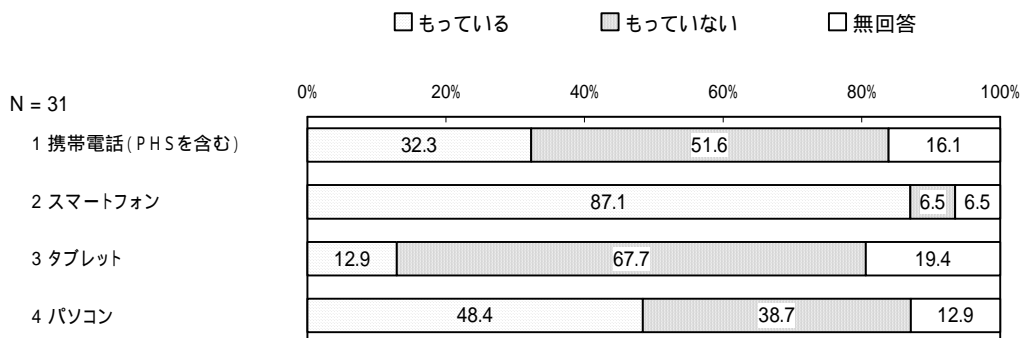
（２）高校生

高校生では、スマートフォンを「もっている」人の割合が約9割となっています。



（３）大学生等

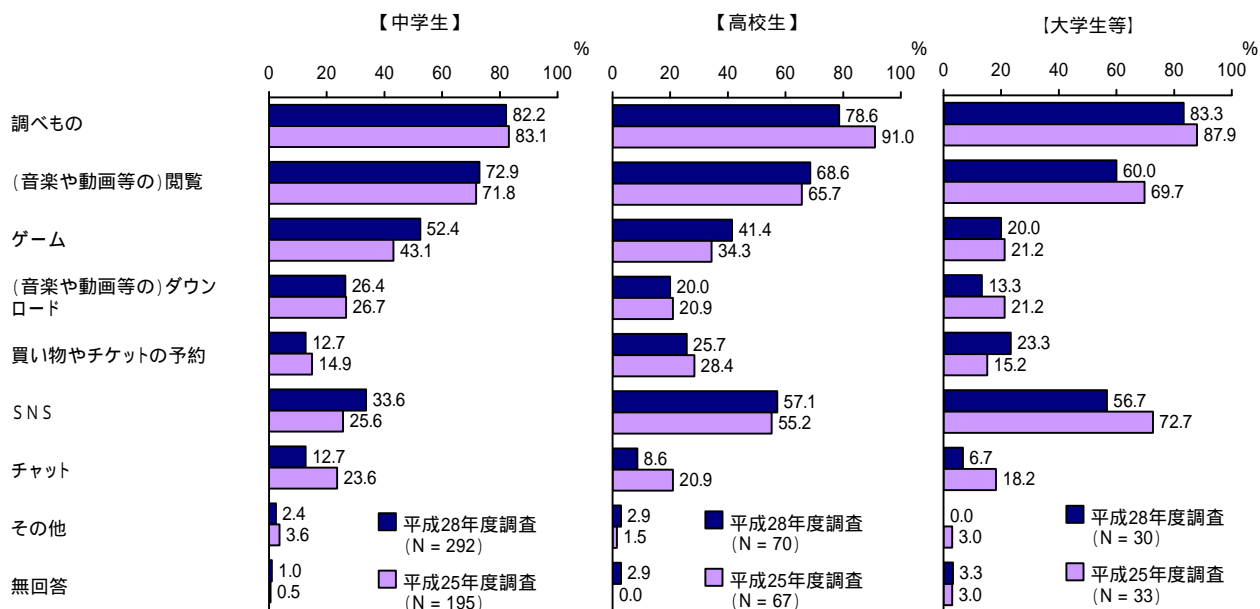
大学生等では、スマートフォンを「もっている」人の割合が約9割となっています。また、パソコンについても半数近くが「もっている」と回答しています。



インターネットの利用内容

インターネットの利用内容については、中学生、高校生、大学生等のすべてにおいて、「調べもの」の割合が最も高く、次いで「(音楽や動画等の)閲覧」「ゲーム」となっています。

平成25年度調査と比較すると、中学生で「ゲーム」「SNS」の割合が増加しています。

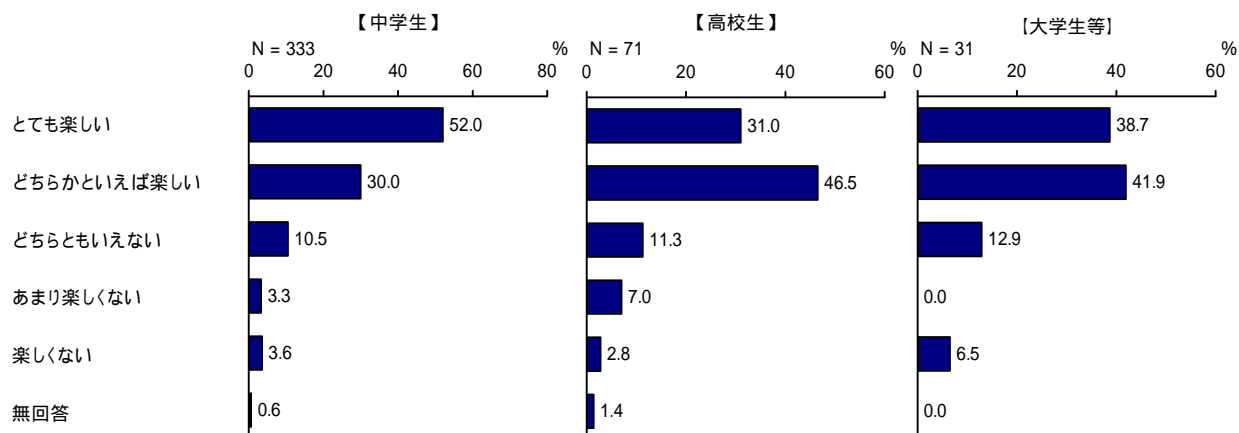


現在、生活は楽しいか

現在、生活は楽しいかについては、中学生では、「とても楽しい」と「どちらかといえば楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が82.0%、「あまり楽しくない」と「楽しくない」をあわせた“楽しくない”の割合が6.9%となっています。

高校生では、“楽しい”の割合が77.5%、“楽しくない”の割合が9.8%となっています。

大学生等では、“楽しい”の割合が80.6%、“楽しくない”の割合が6.5%となっています。



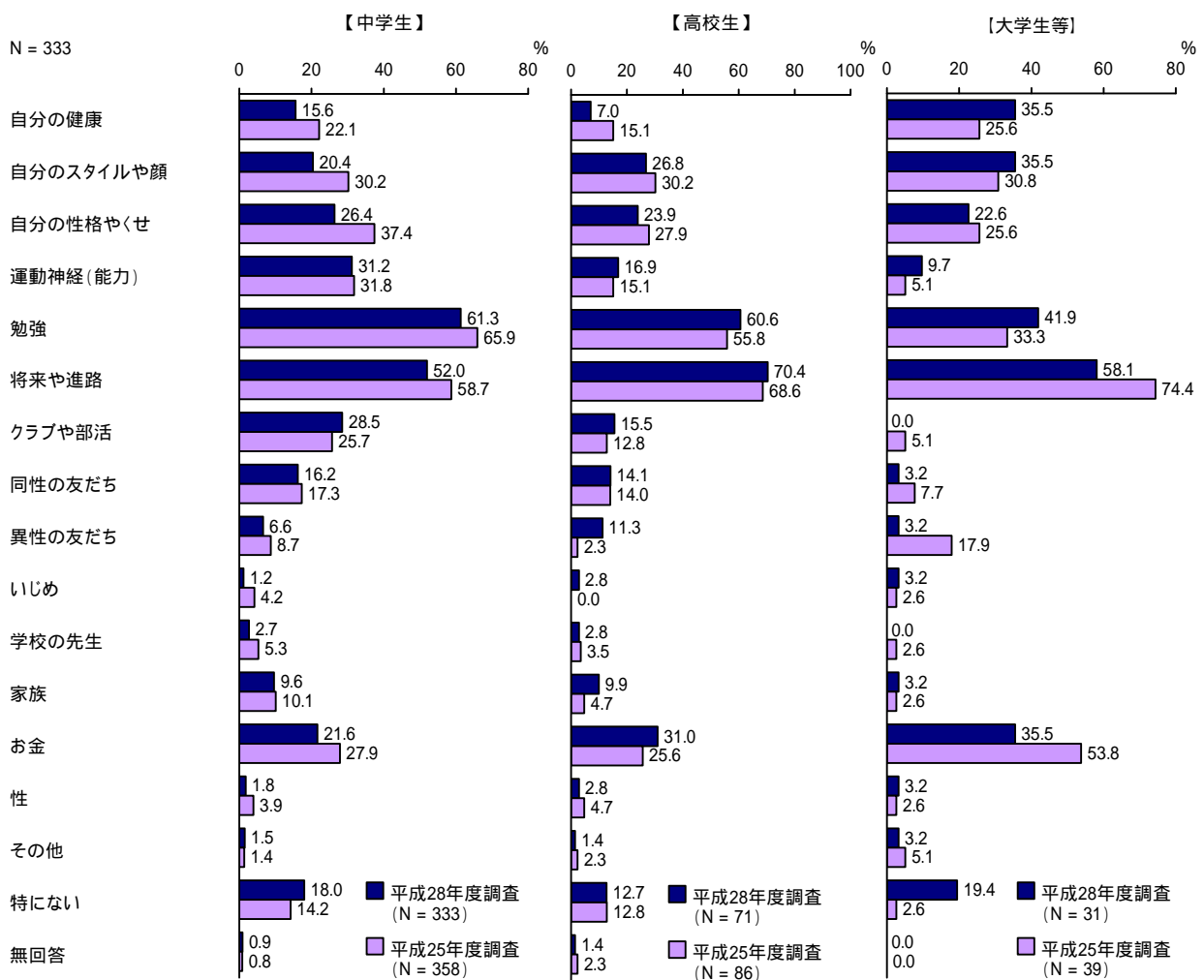
悩みや心配なことがあるか

悩みや心配なことがあるかについては、中学生では、「勉強」の割合が61.3%と最も高く、次いで「将来や進路」の割合が52.0%、「運動神経（能力）」の割合が31.2%となっています。

高校生では、「将来や進路」の割合が70.4%と最も高く、次いで「勉強」の割合が60.6%、「お金」の割合が31.0%となっています。

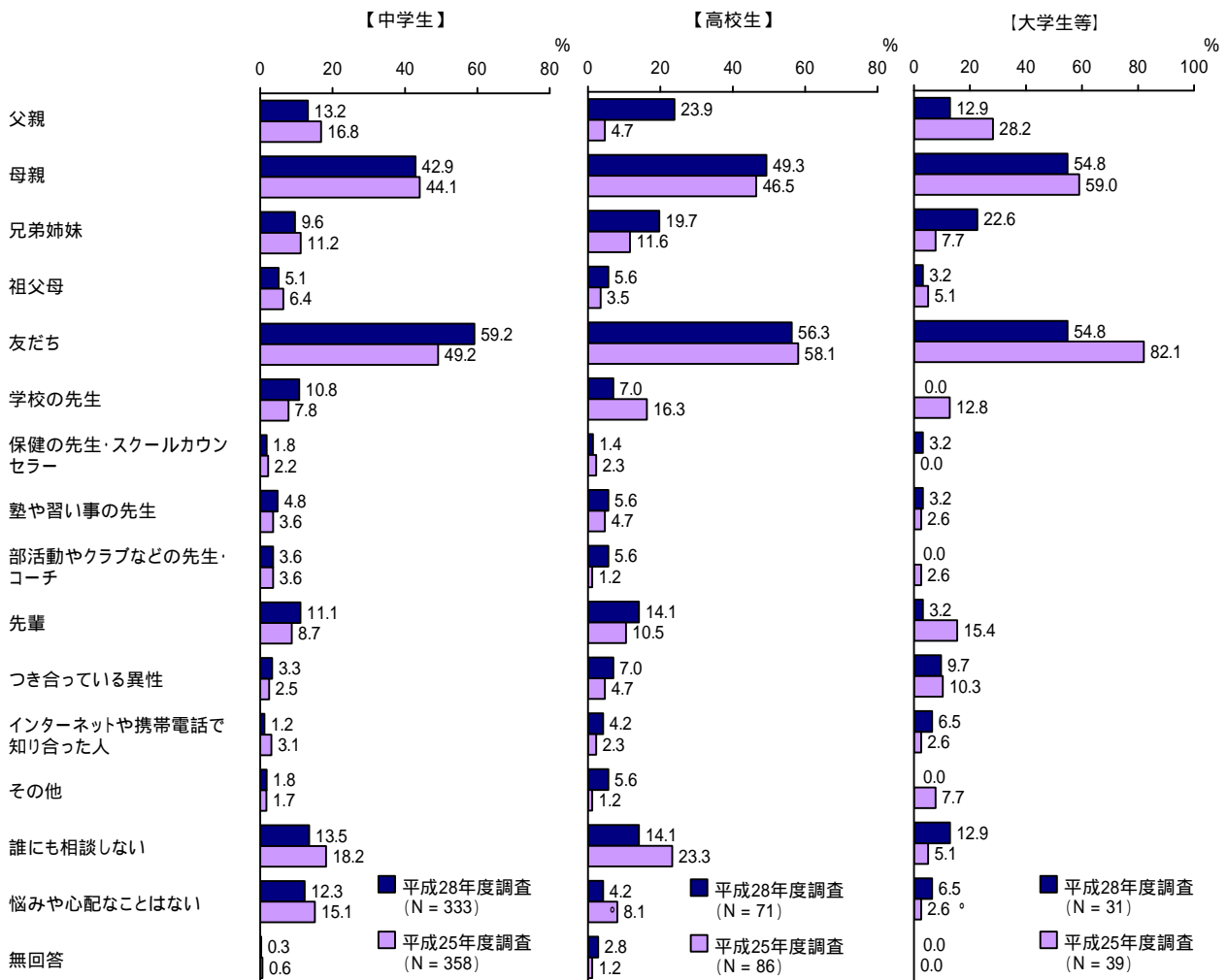
大学生等では、「将来や進路」の割合が58.1%と最も高く、次いで「勉強」の割合が41.9%、「自分の健康」「自分のスタイルや顔」「お金」の割合が35.5%となっています。

平成25年度調査と比較すると、高校生では、「異性の友だち」「家族」「お金」の割合が増加し、大学生等では「自分の健康」「勉強」「特にない」の割合が増加し、「将来や進路」「クラブや部活」「異性の友だち」「お金」の割合が減少しています。



悩みや心配なことの相談相手

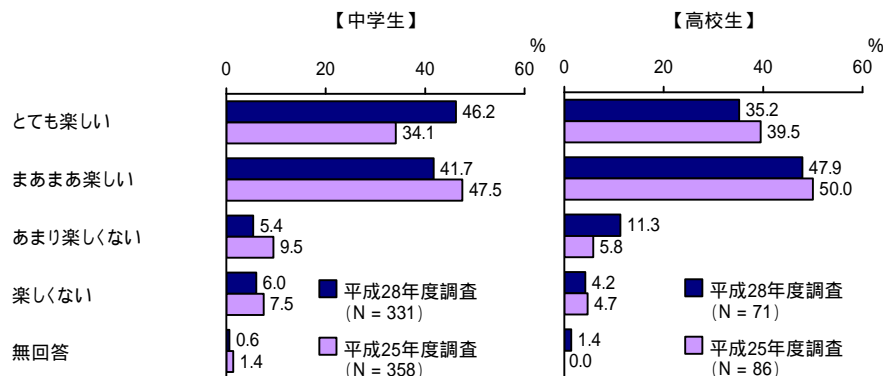
悩みや心配なことの相談相手については、中学生、高校生、大学生等、すべてにおいて、「友だち」と「母親」の割合が高くなっています。



学校は楽しいか

学校は楽しいかについては、中学生では、「とても楽しい」と「まあまあ楽しい」をあわせた“楽しい”の割合が87.9%、高校生では、83.1%となっています。

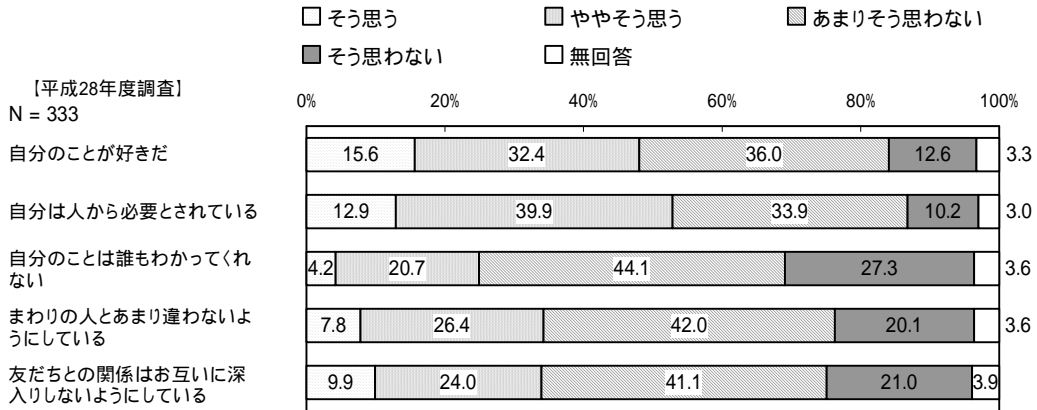
平成25年度調査と比較すると、中学生では「とても楽しい」の割合が増加し、高校生では“楽しくない”の割合が増加しています。



自分の考え方や態度について

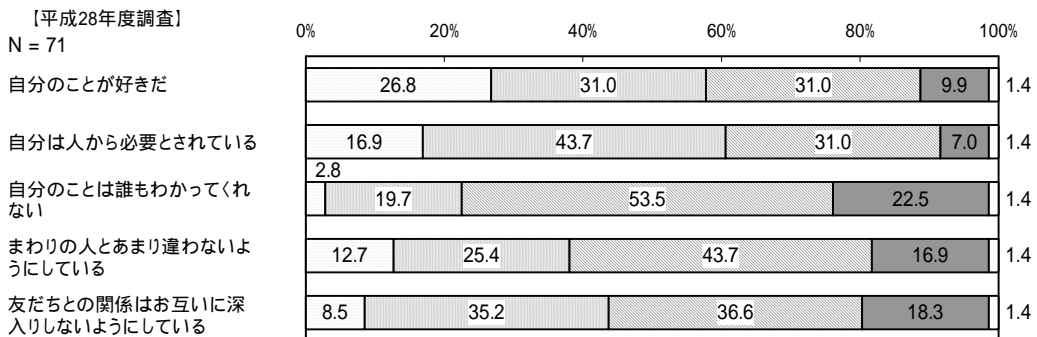
(1) 中学生

自分のことが好きだ、自分は人から必要とされているで「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高く、約5割となっています。また、自分のことは誰もわかってくれないで「あまりそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が高く、約7割となっています。



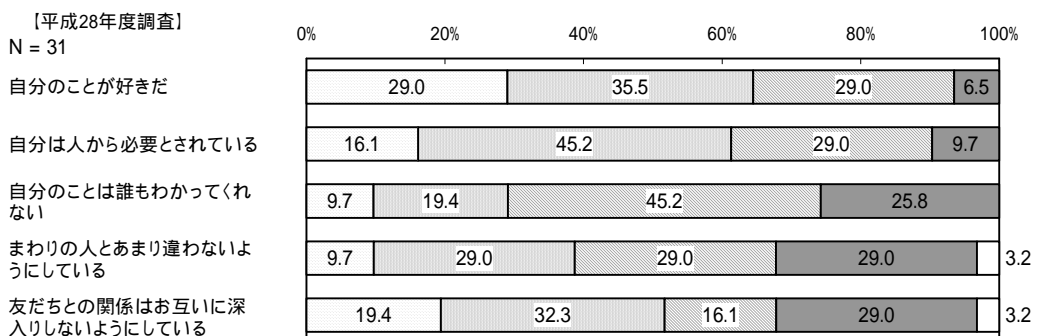
(2) 高校生

自分のことが好きだ、自分は人から必要とされているで「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高く、約6割となっています。また、自分のことは誰もわかってくれないで「あまりそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が高く、7割台半ばとなっています。



(3) 大学生等

自分のことが好きだ、自分は人から必要とされているで「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高く、6割を超えています。また、自分のことは誰もわかってくれないで「あまりそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が高く、約7割となっています。

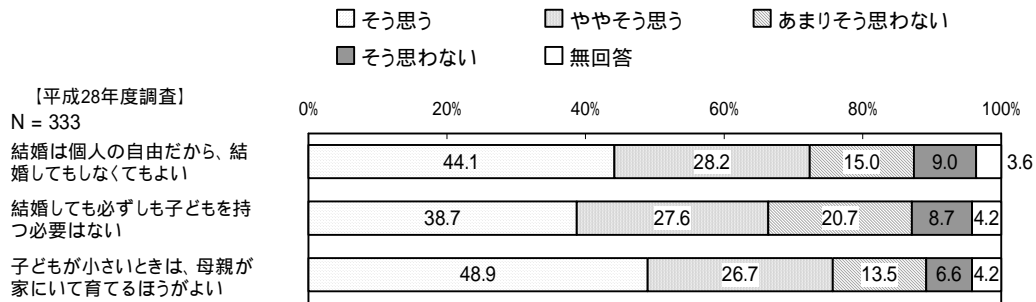


結婚と子育てについての考え

(1) 中学生

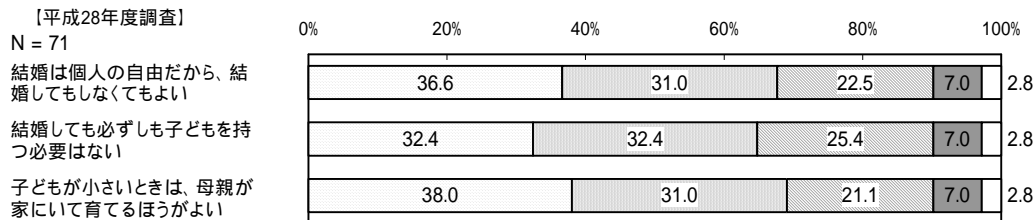
中学生では、いずれの項目でも「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高く、特に 子どもが小さいときは、母親が家にいて育てるほうがよいで7割台半ばとなっています。

平成 25 年度調査と比較すると、結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよい、結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はないで「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が増加しています。



(2) 高校生

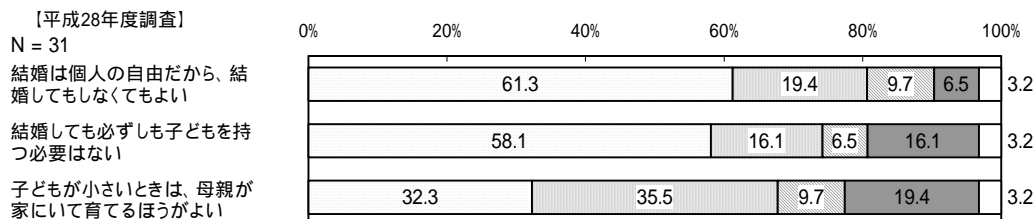
高校生では、いずれの項目でも「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高く、6割を超えています。



(3) 大学生等

大学生等では、結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよいで「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高く、約8割となっています。

平成 25 年度調査と比較すると、結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよい、結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はないで「そう思う」と「ややそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が増加しています。



結婚したいと思うか

将来、結婚したいと思うかについては、中学生では、「将来、結婚したいと思う」と「できれば結婚したいと思う」をあわせた“結婚したいと思う”の割合が64.8%となっています。

高校生では、将来、結婚したいと思う」と「できれば結婚したいと思う」をあわせた“結婚したいと思う”の割合が73.2%、「あまり結婚したくない」と「結婚したくない」をあわせた“結婚したくない”の割合が7.0%となっています。

大学生等では、「将来、結婚したいと思う」と「できれば結婚したいと思う」をあわせた“結婚したいと思う”の割合が64.6%、「あまり結婚したくない」と「結婚したくない」をあわせた“結婚したくない”の割合が6.4%となっています。

平成25年度調査と比較すると、中学生、大学生等において、「将来、結婚したいと思う」の割合が減少しています。

